

---

# かむばっく！記憶～魔法を添えて～

沌弩羅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

かむばっく！記憶～魔法を添えて～

### 【コード】

N5223N

### 【作者名】

沌警羅

### 【あらすじ】

記憶を残したまま転生してきた一人は、ひょんなことから・・・

## story1 (前書き)

文章が下手なので読みづらいこと思こますがよろしくお願いします。

IJUは、魔法発展世界セインクル  
マジックグローブワールド

俺は、サカモトコウシ阪元勇志。高校1年生。IJUの世界では、小魔法学校、中魔法学校、高魔法学校、魔法学校の四つの学校があり、それぞれ小学校、中学校、高校、魔校と呼ばれている。

「あ～疲れたねえ、勇志いー！あ、そういうえば今日出た宿題なんだけどさあ～……」

隣でしゃべってるのは、マガリレント真狩蓮子。幼馴染の関係だ。なぜだか語尾が延びる癖がある。

「ねえ～、私の話聞いてるう～？…わつかからぶつぶつなに言つてんのよ？」

頭の中で設定を読者に話していたはずがいつの間にか口に出していったらしい。

「またなんか言つてるよ。設定とか読者とかあ…あ、もしかして説明してたでしょおー！…やうやうのは、作者の人がなんとかしてくれんだから、私たちは気にしなくていいんだよお。あー作者とかいちゃつたあ！」

結構間抜けだな…ま、そういうところがまたかわいいんだけどな。それじゃ、いつからの説明は蓮子の言つたとおりに作者に任せよう。

『IJUの世界は魔法つまり、道具をなにも使わずに火をおこしたりす

ることなどの魔法が発達している世界だ。

そもそも魔法とは、魔法の難しさや魔法体力によつてランクを分けられており、下から最低呪文、弱呪文、普通呪文、強呪文、最強呪文、禁止呪文に分けられている。

禁止呪文を使った場合、即行で地獄監獄<sup>ヘル・プリズン</sup>行きとなる。』

俺は今、蓮子と下校中だ。

「ねえねえ勇志い。今日わかつたことあつたあ？」

「いや、やっぱ思い出せね。おまえのほうはどうなんだ？」

「私のほうもダメえ。やっぱり私たちが前世でも知り合いだつたつてことしかわかんないよお。」

俺たちはこの世界でも1000人に1、2人の前世記憶保持者だ。しかも知り合いだつたんだから驚きだ。

「ん~、やっぱあいつに聞くしかねーか。」

「そうだねえ~、しかたないよねえ。」

「ん? あいつは誰かつて?

それは・・・・・

To be continue . . .

## story1 (後書き)

誤字脱字等「いや」もしたら教えてください。

これから新連載始めます。

投稿遅いので気長に待つてください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5223z/>

---

かむばっく！記憶～魔法を添えて～

2011年12月17日19時53分発行